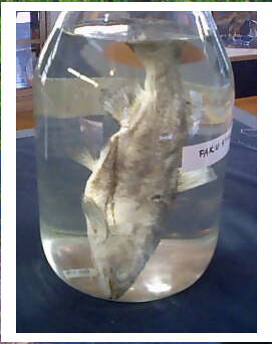


# 特別シンポジウム

# 「クニマスと共に生きる」



日時：平成24年3月25日(日)13:00～  
場所：富士河口湖町中央公民館 ホール  
入場無料・申込み不要

2010年秋田県田沢湖で70年前に絶滅したクニマスが京都大学の研究グループによって山梨県西湖で発見されました。私たちはこの魚を絶滅させないために2度目の機会が与えられたのです。そのためには、「我々とクニマスとの共存」が求められます。クニマスは田沢湖では漁業の対象であり食用魚として流通、また、地元では大切な「晴れの魚」として人々とともに生きてきました。このことは西湖でも同様です。西湖ではクニマスは「ヒメマス」として、戦前と戦後を通して人々とともに生き続けています。

クニマスとどのように共存するのか、そのためにシンポジウムを開きたいと思います。まず、クニマスという魚を正確に知っているだけではなりません。それも、広くいろいろな人々に知っていただくだけではなりません。幻の魚、夢の魚、伝説の魚とって、神棚に祭りあげられることのないよう、普通の魚として大切にされることを願って、シンポジウムを、と思っています。

## § プログラム

- 13:05～ 前半講演：座長 瀬能宏（神奈川県立生命の星・地球博物館）  
13:05～ 中坊徹次（京都大学） 15分  
「クニマスの正体—サケ属としての位置づけ—」  
13:20～ 三浦久（仙北市・田沢湖に命を育む会） 15分  
「戦前のクニマス漁と戦後の探索キャンペーン」  
13:35～ 三浦保明（前西湖漁協組合長） 15分  
「西湖にクニマスが移植されたころ 他」  
13:50～ 渡辺大介（富士河口湖町） 15分  
「戦前のマス漁におけるクロマス」  
14:05～ 青柳敏裕他（山梨県水産技術センター） 20分  
「西湖におけるクニマス調査」  
14:25～ 渋谷和治他（秋田県水産振興センター） 20分  
「秋田県が行った西湖におけるクニマス生態調査」  
14:45～ 休憩 20分  
15:05～ 後半講演：座長 中坊徹次（京都大学）  
15:05～ 中山耕至・武藤望生（京都大学） 20分  
「クニマスとヒメマスとの遺伝的差異」  
15:25～ 渡辺安司（クニマス研究会） 20分  
「西湖におけるヒメマス漁の管理とクニマス保全」  
15:45～ 吉崎悟朗（東京海洋大学） 20分  
「生殖細胞の凍結保存によるクニマス遺伝子資源の長期保存」  
16:05～ 輿水達司（山梨県環境科学研究所） 20分  
「西湖および周辺域の地下水循環からみたクニマスの保全」  
16:25～ 瀬能宏（神奈川県立生命の星・地球博物館） 20分  
「文化財保護法と種の保存法の問題点—クニマスを守るのは法か人か？」  
16:45～ 場面転換 5分  
16:50～ 総合討論 座長 中坊徹次（京都大学）  
パネリスト 12名（発表者+森誠一、岐阜経済大学）

主催：富士河口湖町

詳しいお問合せは・・・

0555-72-6023(富士河口湖町役場政策局)

